

- 問1 江戸時代、株仲間などが営業の対価として幕府に上納した税金のことを何という？
- 問2 江戸時代後半、松平定信が行った政治改革を何という？
- 問3 江戸時代、オランダを通して西洋の医学や文化を学ぶ学問を何という？
- 問4 寛政の改革で実施された、農民を故郷に帰す政策を何という？
- 問5 江戸時代、蝦夷地を支配し、アイヌの人々と鮭などの海産物と米などを交換して利益を得ていた藩はどこ？
- 問6 ロシアからの使節によって日本へ帰国した漂流民は誰？
- 問7 マニュファクチュアにおいて、労働者が手作業で効率的に生産するために行われた手法を何という？
- 問8 江戸時代後期に浮世絵で用いられた、多色刷りによる鮮やかな版画の作品を何という？
- 問9 十返舎一九が江戸時代後期に著した、笑いを誘う内容の文学作品のジャンルを何という？
- 問10 江戸時代、幕府から知行地を与えられ、寛政の改革における借金帳消しの対象となった、將軍直属の家臣たちを何という？
- 問11 江戸幕府が、キリスト教の布教を理由に1639年に命じた、ポルトガル船の日本への入国禁止措置を何という？
- 問12 井原西鶴が確立した、町人の生活や感情を写實的に描いた小説形式を何という？
- 問13 江戸幕府において、征夷大將軍がその地位を保ちつつ統率した、全国の武士の集団を何という？
- 問14 江戸幕府がキリスト教の禁止や貿易の制限を行い、長崎を中心とする外交体制を固めた政策を何という？
- 問15 18世紀後半にイギリスからの独立を宣言した、北アメリカの入植地を何という？
- 問16 大名が一年おきに領地と江戸を往復し、將軍に仕える制度を何という？
- 問17 江戸時代前期に、俳諧を芸術性の高い文学へと高めた人物は誰？
- 問18 江戸時代、参勤交代などによる人や物の往来のため、江戸を起点として整備された主要な五つの街道を何という？
- 問19 19世紀、日本近海に頻繁に出没し、幕府が対外政策を厳しくするきっかけとなった外国はどこ？
- 問20 江戸時代、5代將軍として儒学を厚く奨励し、武力による政治から道徳や学問を重視する政治へ転換した人物は誰？
- 問21 江戸幕府で享保の改革を行った人物は、代々何代目の將軍？
- 問22 松平定信が主導し、幕府の財政再建や規律の維持を目指して行われた改革を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 運上	運上は「莫加」と並び、株仲間の商人が営業を許可される対価として定期的な納める税金です。主に鉱山経営や特定の商売を独占している者から徴収されました。これにより幕府は商人の経済活動を公認し、全国的な流通網を管理下に置こうとしました。
問2	答え 寛政の改革	老中となった松平定信は、儉約令を出して支出を抑えるとともに、都市へ流出した農民を強制的に帰郷させる「人返しの方」を施行しました。また、朱子学以外の学問を制限する寛政異学の禁なども行い、幕府の権威を回復しようとしていました。
問3	答え 蘭学	蘭学は、オランダ語で書かれた書物を翻訳して西洋の科学技術や医学を学ぶ学問です。杉田玄白らが西洋の医学書を翻訳した『解体新書』などが代表的であり、実証的な観察や実験を重んじる姿勢が日本の学問に大きな影響を与えました。
問4	答え 旧里帰農令	松平定信が実施した寛政の改革の一つとして「旧里帰農令」が出されました。江戸に出てきた農民に対して、故郷へ戻って農業に専念するよう促し、幕府の基盤である農村の復興を図りました。
問5	答え 松前藩	松前藩は、稲作が困難な蝦夷地の気候を考慮し、米の代わりにアイヌの人々から鮭や昆布などの海産物を入手し、それを日本国内の市場で売ることによって利益を得ました。この交易は「場所請負制」という形で運営されることもあり、松前藩の経済を支える重要な基盤となっていました。
問6	答え 大黒屋光太夫	伊勢国出身の大黒屋光太夫は、江戸へ向かう途中で遭難し、ロシアへ漂着しました。長い滞在生活の中でロシアの事情を学び、帰国を願い出て、1792年にラクスマンと共に根室へ帰還しました。彼の体験談やロシアに関する情報は、当時の知識人や幕府要人の間で大きな関心を引きました。
問7	答え 分業	マニュファクチュア（工場制手工業）では、資本家が工場を作り、多くの労働者を集めました。一人の作業者が全工程を行うのではなく、作業を細かく分けて分業させることで、効率よく大量の製品を生産することが可能になりました。
問8	答え 錦絵	：錦絵は、彫り師や摺り師の高度な技術により、多くの色を重ねて表現された多色刷りの版画です。美人の姿や人気の歌舞伎役者、各地の名所風景などが描かれ、庶民の教養や娯楽として大流行しました。
問9	答え 滑稽本	滑稽本は、登場人物の滑稽な言動や失敗談を描くことで、読者に笑いを提供する小説です。十返舎一九の作品をはじめ、当時の旅の様子や江戸の町人の生活が面白おかしく綴られています。挿絵とともに読まれることが多く、庶民の教養と楽しみの両面を担っていました。
問10	答え 旗本	旗本は、将軍の直臣として江戸城に勤務し、行政や軍事の役職に就いていました。彼らの経済状況が極端に悪化したため、幕府は「棄捐令」を出し、商人からの借金を一部帳消しにする特例措置を行いました。
問11	答え ポルトガル船の来航	幕府は、キリスト教を広める中心と見なされたポルトガル船の入国を完全に拒否し、日本からの出国も禁止しました。一方で、貿易に興味を持ち、キリスト教を広めないオランダとは長崎の出島でのみ貿易を継続しました。
問12	答え 浮世草子	井原西鶴は、『日本永代蔵』などの作品を通じて、町人の現実的な生活や経済活動、あるいは人間関係をリアルに描く「浮世草子」というジャンルを確立しました。それまでの物語とは異なり、読者である町人の共感を呼ぶ親しみやすい内容でした。
問13	答え 武家	武家は将軍を頂点とした厳格な身分制度の中で政治・軍事の担い手となり、江戸幕府の支配体制を構成しました。幕府は「武家諸法度」を定めて諸大名や旗本、御家人などの武家を厳しく統制しました。
問14	答え 鎖国政策	鎖国政策は、日本人の海外渡航の禁止、外国人の入国制限、貿易の管理を行うことで、幕府が対外関係を独占する体制です。長崎の出島を窓口としてオランダや中国などとの交流は続きましたが、それ以外は厳格に制限されました。
問15	答え 13植民地	イギリス本国による課税強化に対し、入植地の住民たちは「代表なくして課税なし」と反発しました。1776年、これら13の植民地は独立を宣言し、長年の戦いの末にイギリスからの独立を達成しました。これが現在の「アメリカ合衆国」の起源となります。
問16	答え 参勤交代	1635年、徳川家光によって制度化された参勤交代は、大名を1年おきに江戸と領地に住まわせる義務を課すものです。この往復費用は莫大であり、大名の財政を圧迫して反乱の余力を削ぎました。また、妻子を人質として江戸に住まわせることも義務付けられていました。
問17	答え 松尾芭蕉	松尾芭蕉は旅をしながら多くの句を詠み、自然や人情の移ろいを繊細に表現しました。彼の作品は、その後の俳句文学の基礎となる大きな影響を与えました。
問18	答え 五街道	五街道とは、東海道・中山道・日光街道・奥州街道・甲州街道の五つを指します。幕府は街道に宿場を整備し、旅人のための施設や公共交通のための仕組みを整えました。これにより物流が活発化し、江戸の街には全国から特産品が集まるようになりました。
問19	答え ロシア	ロシアは、シベリア方面から南下し、北海道周辺や千島列島に頻りに船を派遣しました。日本との交易を求めてきたラクスマンやレザノフといった人物の来航は、幕府に大きな衝撃を与えました。
問20	答え 徳川綱吉	綱吉は自ら儒学を学び、幕府の公的な学問として朱子学を積極的に取り入れました。これにより、社会全体の秩序を守るための道德教育が重視されるようになりました。また、生類憐みの令を出したことで有名ですが、学問の奨励もその統治の大きな柱でした。
問21	答え 第8代将軍	徳川吉宗は、質素儉約を奨励し、年貢の徴収方法を見直すなどの「享保の改革」を断行しました。裁判の基準を明確にし、民意を聞くための目安箱を置くなど、社会の安定と財政再建を同時に図りました。
問22	答え 寛政の改革	老中に就任した松平定信は、田沼時代の賄賂政治を改め、厳しい節約を促す綱紀肅正を行いました。また、農民を村に帰す政策や、朱子学以外の学問を制限する「寛政異学の禁」などを実施し、秩序の再構築を図りました。